



横浜市立大曾根小学校

学校だより

令和4年9月30日

TEL 542-1785

FAX 541-0949

子どもたちの望ましい成長のために、大人としてできること

～居心地のよい家庭・地域・学校の風土づくりのために～

校長 宮本 雅司

朝夕の涼しさに、秋の訪れを感じる季節となりました。子どもたちのご家庭や地域での生活は如何でしょうか。学校では、来月のスポーツフェスティバルに向けての活動が始まりました。

学校は、子どもたちが学びを豊かにするための教育の場で、実社会への準備段階です。それゆえ、社会では余り望ましくない言動や問題が度々あります。学びの場なので、問題が起こることは一概に悪いことではありません。その都度、保護者や地域の皆様と教職員とが連携して、望ましい育ちを支える日々です。一人ひとりのよさや違いがあるので、その教育の方法は様々にあるのだらうと思います。

教育の方法は様々でも、私たち大人は「子どもたちによりよく成長して欲しい」という共通した目標を目指しています。一人ひとり個性豊かな子どもたちなので、望ましい成長を支えるのにベストな方法の選択は難しいのですが、その子に関わる保護者・地域・学校の教職員が、力を合わせてベターな方法について共に考え、実践していくことはできると思います。

私事ですが、我が子が子どもの頃、学校の先生と話していて気付かされたことがあります。面談の際に聞いたのは、時折、授業を抜け出したり、泣いていたりする姿が見られるとのことでした。初めは「まさか…」と思いました。家庭の中や親の私には全く見せない顔でした。そのときに気付かされたのは、子どもは、親に心配をかけないようにするためか、本音や事実が言えないことがあることです。振り返ると、自分も親に言えないことは多々ありました。我が子のことも、知らず知らずと家庭の中に言わせない雰囲気をつくっていたのかもしれない。反省しました。

家庭でも学校でも、親の自分の気持ちや価値観より、やがて自立して実社会で活躍する子どもの気持ちや考えを聞き、正直に話してくれることを褒めたり、価値付けてあげたりすることが大人の役割として大切だと思います。自分がよくないことをした際、逃れようとする気持ちは誰にでもあります。嘘をついたり人のせいにしったりなどです。が、もしそれで逃れられたら、今後よくないことをしても同じように逃れようとするのではないのでしょうか。誰かのせいではなく、自分を内省して、自分のすることやしたこと責任がもてる人に成長してもらうために、自分の言動はどうなのか、振り返る機会をもつことはとても大切な気がします。子どもたちが正直に何でも話したり相談したりできる風土や雰囲気を家庭・地域・学校に築くことができたらと思います。

スポーツフェスティバルの保護者参観についてのお知らせ

◇ 現在の社会状況と同様に、学校内でも新型コロナウイルス感染症の状況が減少傾向に転じています。今後、冬に向けて予断を許さない状況ではありますが、保護者の皆様からの要望もあり、保護者等の参観を1名から2名程度に緩和します。校庭の参観場所が限られているため、マスクの着用や当該学年の競技のときに参観を譲り合うなど、感染防止対策及び参観マナーへのご協力をよろしくお願いいたします。